

私たちはOne Team体制で、地域基幹病院としての機能を発揮させ、市民から愛される病院づくりを実現いたします。

基本計画を具現化するために大切にしている5つの柱 —私たちは本事業推進に欠かすことのできない5本の柱を念頭に設計・施工を行います—

- 1 患者さんに信頼される病院
- 2 急性期医療を担う病院
- 3 地域医療連携の強化が可能な病院
- 4 働く魅力のある病院 (職員が育つ・働きやすい施設整備)
- 5 地域のために持続可能な病院経営



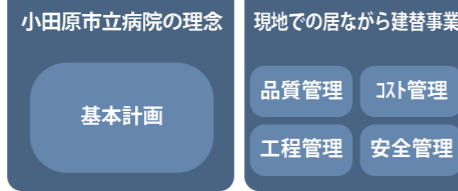
【新病院を北東から鳥瞰】

業務実施方針

設計と施工のOne Team体制が生み出す確実な業務推進

- 設計施工一括発注により基本計画の主旨を現地建替の中で確実に実施します。
- 小田原市立病院の理念を踏まえて作成された基本計画を理解し、昇華させるために5つの柱を念頭に本事業を推進します。
- 設計から施工・監理のすべてのフェーズにおいて4つの管理を徹底します。

One Teamがすべてを受け止め業務



新病院の利用者の軸となる「ホスピタルクロス」



通りよくわかりやすいブロック受付

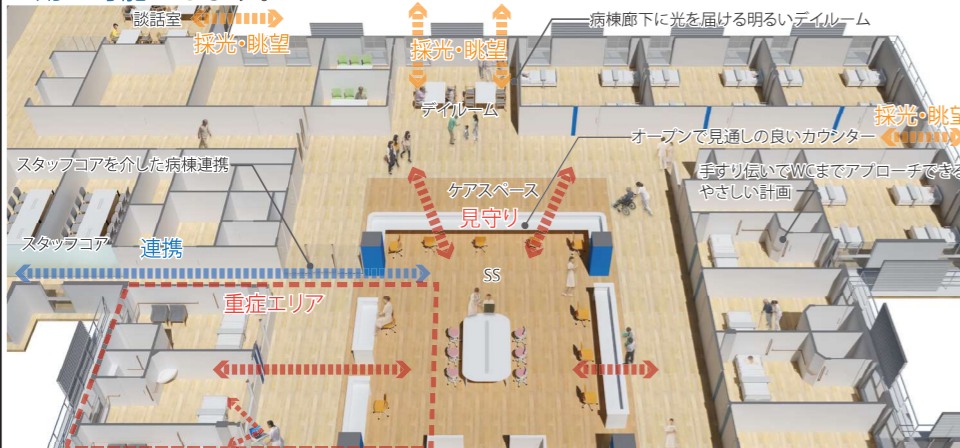
温かみのあるやさしい内装計画

【「ホスピタルクロス」で分かりやすく迷わない外来フロア】

見守り型病棟で気配が届く、安心感につながる

ナーシングホール型病棟

- 急性期病院にふさわしい見守りやすい病棟で、高齢化と重症化対応を可能にします。
- スタッフコアでカンファレンス室や休憩室を独立化して集約配置。相互利用を可能にします。



地域全体への情報発信

地域医療連携室や医療情報コーナーをエントランスに配置

- 医療地域連携室をエントランスに配置し、地域住民を含めた来院者に対し視認性を向上させます。
- 地域住民に開かれた医療情報コーナーをエントランスに配置し地域全体に情報発信します。



【エントランスホール】

多職種交流を促進しチーム医療を発展

スタッフ commons の提案 (オープン化・ホワイエとの一体化)

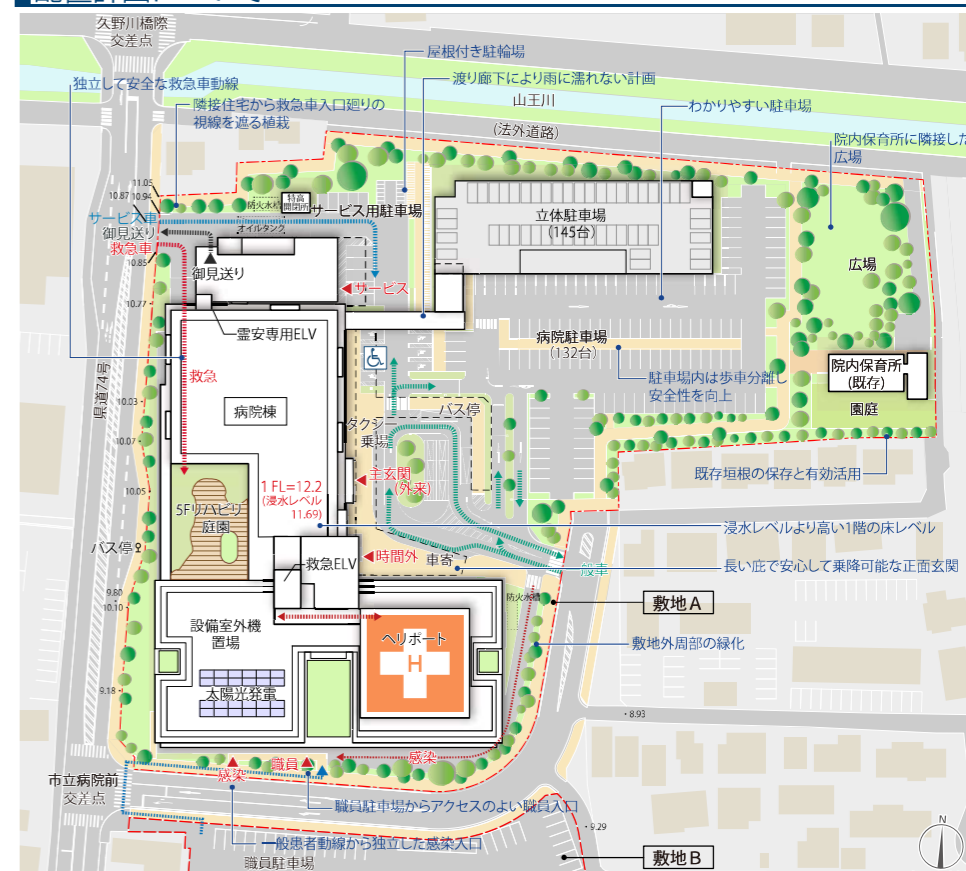


【スタッフ commons】

- オープン形式のラウンジ「スタッフ commons」を配置し、スタッフの休憩・情報交流の場としてチーム医療を促進します。
- 隣接した会議室はガラスパーティションで構成され、内部、外部共に情報共有の場となります。
- 会議室の可動部を開閉することにより中規模会議、シミュレーション会場として使用可能です。

全ての人の動きに配慮した効率的な動線計画

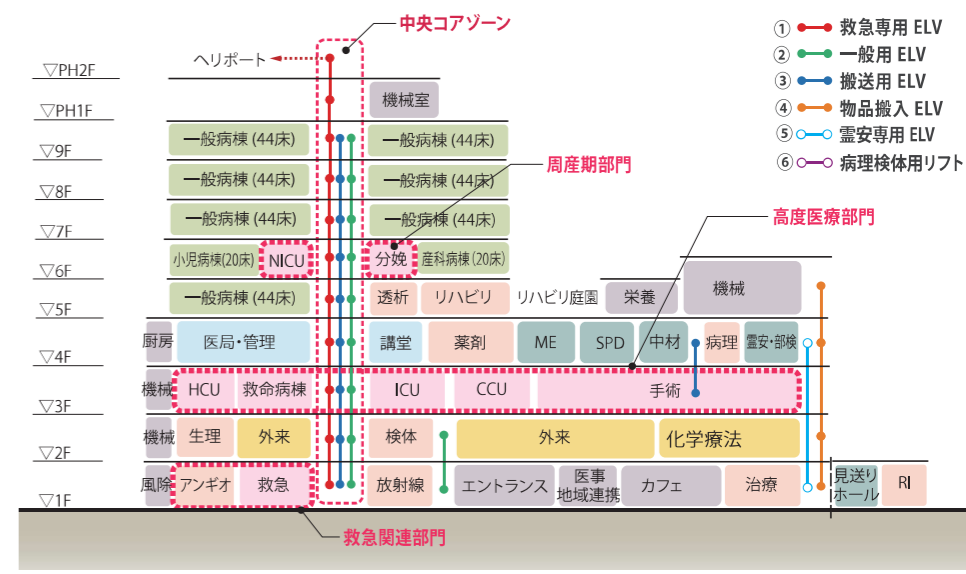
配置計画について



- 敷地内車両動線分離 (一般・時間外・救急・サービス・スタッフ・霊安)
- 駐車場への安全なアクセス
- 高齢者にも安心な長く大きな庇
- 敷地外周部の緑化と既存垣根の保存と有効活用

医療の効率化・迅速化を追求する高密度な部門連携

- 中央コアゾーンに、一般用・搬送用 ELV を集約配置します。縦動線を集約することで搬送動線の効率化を図ります。
- 救命救急部門と放射線部門を隣接配置。迅速な救急対応に寄与します。
- 3階に高度医療部門 (手術・ICU・救急病棟) を集約。相互連携に配慮します。
- 6階に地域周産期母子医療センターを設置。小児救急医療を充実させます。
- 救急⇄高度医療部門⇄屋上ヘリポートを救急専用 ELV で直結させます。
- 薬剤 (4F) や栄養 (5F)、SPD などへの搬送を効率化を図ります。



小田原市立病院の理念・基本計画を継承し、さらに昇華させた建築計画を目指します。

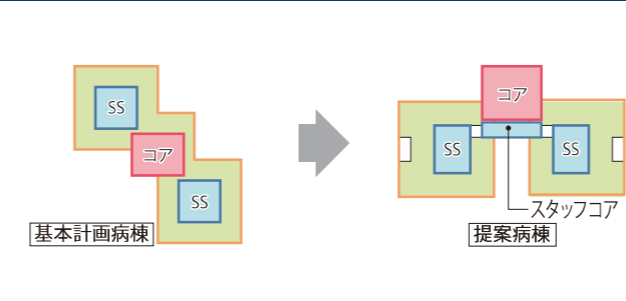
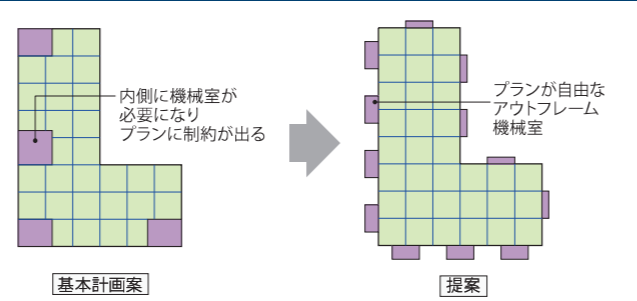
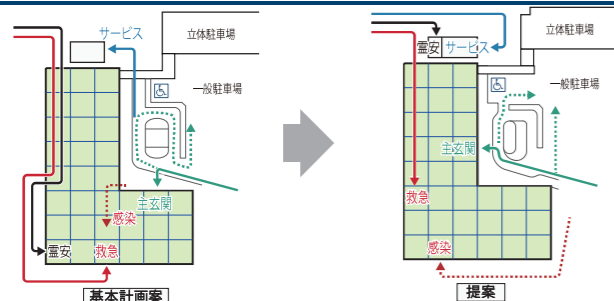
基本計画をさらに昇華させた提案内容



配置動線計画の更なる整理と効率化について(昇華した計画)

面積増でも予定価格に納めるバランスの確保について(昇華した計画)

病棟計画 チーム医療を促進するスタッフコアの提案(昇華した計画)



災害に強く環境にやさしい病院のメカニズム

自然エネルギーを活用した省エネルギー設計の徹底

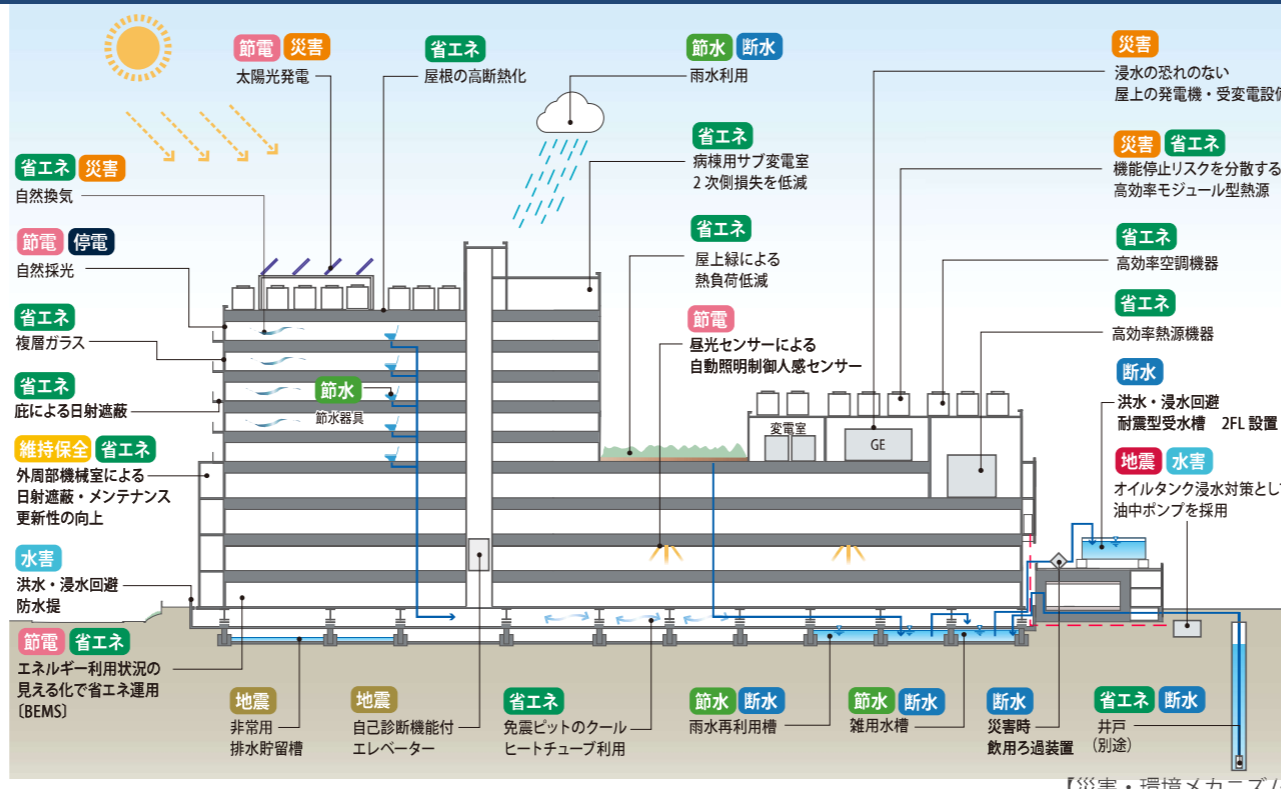
- 太陽光による発電や雨水の雑用水利用など再生自然エネルギーを積極的に活用する省エネルギー設計を行います。
- 病棟は自然光の入るダイルームやデイコーナーを利用した自然換気を行い、災害時や中間期における空調負荷の削減を実現します。
- 免振ピットの夏涼しく冬暖かい空気を病院内に取り込むクールヒートチューブを採用します。

省エネルギー機器・高効率機器を活用

- 人感センサー付きの照明器具や自動水栓・節水器具など省エネルギー機器を採用します。
- 熱源機器や受変電設備、空調機器などは高効率機器を採用しエネルギー効率を高めます。

エネルギーロスをミニマム化する施設計画

- 空調機械室を分散配置することでダクト長を短縮し、エネルギーロスや搬送動力を削減します。
- 病室の屋外機を隣接するバルコニーに設置し配管からの熱損失をミニマム化します。
- 建物外周部にはバルコニーを設け強い日射による熱負荷を低減します。さらに外壁や窓の高断熱化を図り建物全体の熱負荷を軽減する計画とします。

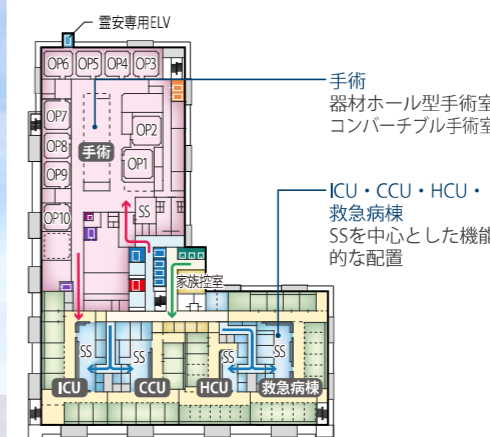


【災害・環境メカニズム】

患者さんに信頼される病院＝患者中心の部門配置

3階 高度医療部門の集約

- 手術部門、ICU・CCU・HCU・救急病棟
- 部門連携を強化



9階 感染症棟対応

- 感染対応
- 感染者動線を考慮



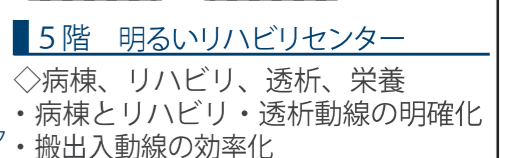
7階・8階 一般病棟

- 救急病棟
- 救急病棟
- SSを中心とした機能的な配置
- スタッフコア
- SSを接続し構成



6階 地域周産期母子医療センター

- 産婦人科
- 小児病棟
- 分娩
- 緊急動線の配慮
- NICU
- スタッフの目が行き届く位置に配置



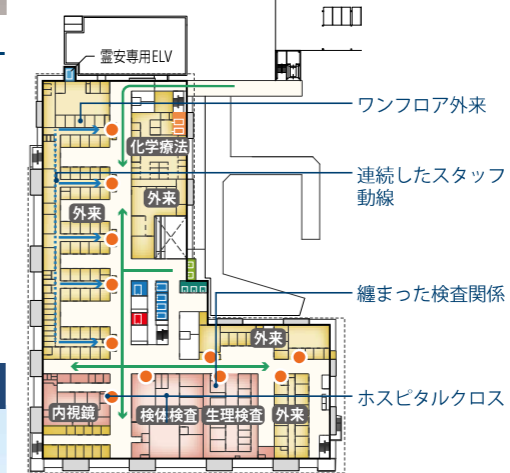
5階 明るいリハビリセンター

- 病棟、リハビリ、透析、栄養
- 病棟とリハビリ・透析動線の明確化
- 搬出入動線の効率化
- 機械
- メンテナンス、更新を考慮した配置
- 厨房
- 搬入動線に面して配置
- リハビリテラス
- 開放感に考慮
- リハビリ
- 来院者・入院者共に利用しやすい配置
- 人工透析
- 明るい透析室



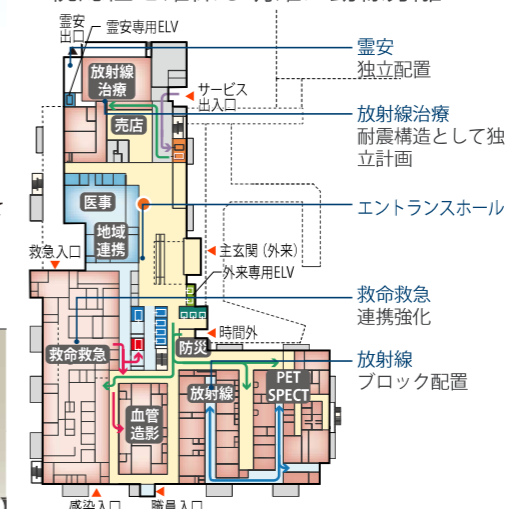
2階 ワンフロア外来

- 外来部門、化学療法、生理検査、検体検査、内視鏡
- ホスピタルクロスにより視認性確保



1階 視認性に優れたエントランス

- 救急部門、放射線部門、医事課、地域連携、アメニティ
- 視認性を確保し明確に動線分離



4階 スタッフコモンズ

- スタッフ部門、供給部門、薬剤、病理、霊安、講堂
- 搬出入動線の効率化、一般動線の分離
- 霊安
- 霊安専用ELVの設置
- 薬剤
- 患者・搬入動線に面して配置
- スタッフコモンズ
- スタッフエリアの中心に配置

